

えんがわ

第35号

2010年2月発行

発行元
衣笠病院グループ
衣笠須賀市小矢部
2-23-1
Tel 046-852-1182

仮免ドライバー？

衣笠病院グループが訪問リハビリを提供しはじめて、十年と少しが経ちました。

最近の傾向としては、自宅に退院したばかりの方に對し、生活が安定するまでの期間を集中的に對応するケースが増えているように思います。自動車教習に例えると病院でのリハビリは教習所内の練習で、退院直後はいわば仮免での路上教習です。この段階をうまくクリア出来るかどうかはご本人にとってはもちろん、ご家族や介護者の方々にとって非常に重要だと考えています。病院リハをがんばって来られた方々にとつ



ては、その内容や回数はずもどかしく感じるようですが、限られた時間の中で機能的な面から家庭環境まで幅広く評価を行い、ご本人や在宅にかかわる多くの方々に有益な情報を伝えるのが私たちの役目だと考えています。

心待ちにしていた在宅生活のスタートに、これからの無いように、これからも他職種と力を合わせてサポート致します。

衣笠病院
リハビリテーション科
主任理学療法士 成田 拓

えんがわ在宅 ひとくちメモ 糖尿病療養指導士 として思うこと

日々、糖尿病の方と話す機会が多い中、食に對する思いを変える事・美味しいものへの欲求を抑えることの大変さを感じています。

あそこのレストランは美味しい、あの店で売っているケーキは美味しい等、毎日のように目や耳から情報が入ってきます。そして、新しい自分の嗜好を追い求めていきます。

人によって好きなものは、変わります。特に、脂っこいものと甘いものと塩分の高いもの、コマーシャルでも言っている余分な3つが、美味しいと感じるようです。

一度好きになつたものを食べてはいけないとは言え

ないけど、減らしましょうと伝えると、たいていの方がいやな顔をします。理解していただくために、食べられるのも命あつてのことでしょうぐらいの勢いで説明します。しかし、実は自分も余分が大好きです。人に伝えながら、自分も反省し言い聞かせてます。

健康な老後を送るために、一緒に余分なものを摂らずに生きて行きたいものです。

衣笠病院 東5階病棟
看護師長 甲斐 千秋



立春とはいえまだまだ寒い日が続きます。朝晩の温度差が激しいので、油断をせず、気をつけてお過ごしください。

